

IBMソフトウェア
コラボレーション・ソリューション

IBM Connections

つながりがビジネスの成功を生む



今日、人々はテクノロジーによって力をつけています。クラウド・テクノロジーやソーシャル・テクノロジーの進歩によって世界も大きく変化しています。人々が時や場所を選ばずに安全な方法でかわり合い、コラボレーションやイノベーションが可能になったことで、新しいアイデアの創造、商機の発見、ビジネスの成長が促進されています。今後、スマートな企業は事業のやり方を変え、生産性を高め、社内外のコラボレーション環境を構築することによって、イノベーションと営業成果向上を実現すると予想されています。

組織の従来のネットワークの外部に存在するインフルエンサーの数はますます増加しています。現在では、クラウド・テクノロジーやソーシャル・コラボレーション・テクノロジーにより、組織はインフルエンサーを以前よりも安全に巻き込み、関与させられるようになってきました。その結果、より多くのことを達成できるようになり、有能な人材や専門知識にもアクセスできるようになっています。

「ソーシャル・ワークフローの影響が組織に浸透するに従い、この影響はエンド・ユーザーの作業場所に密接にかかわるようになります。」¹

— IDC、2013年6月

IBM Connectionsによって、企業は、すぐにグローバルで利用できるコラボレーション機能を、Software as a Service (SaaS)、オンプレミス、ハイブリッドのいずれかの展開モデルを通じて導入できます。IBM Connectionsによって、コミュニティー、リッチ・プロフィール、ブログ、Wiki、フォーラムなどのさまざまなエンタープライズ・ソーシャル・ネットワークを利用できるようになります。さらに、メール、ファイルの共有と同期、チャット、会議、文書の共同編集などの各種機能によってコラボレーション環境全体がサポートされるため、エキスパートのネットワークとかかわることができるようになり、集団的知性の力を活用できます。

IBM Connectionsは真のプラットフォームとしての役割を果たし、これらの機能をオープンAPI[※]やパートナーのエコシステムにより拡張できます。さらに、他のビジネス・アプリケーションと簡単にすぐに直接統合することもできます。IBM Connectionsは、雑音や表層に隠された、ビジネスにとって最も重要な要素を抽出するのに役立つ、使いやすい統合されたインテリジェント・ツールにより、人々を巻き込み、関与させることができるプラットフォームです。

※API : Application Programming Interface

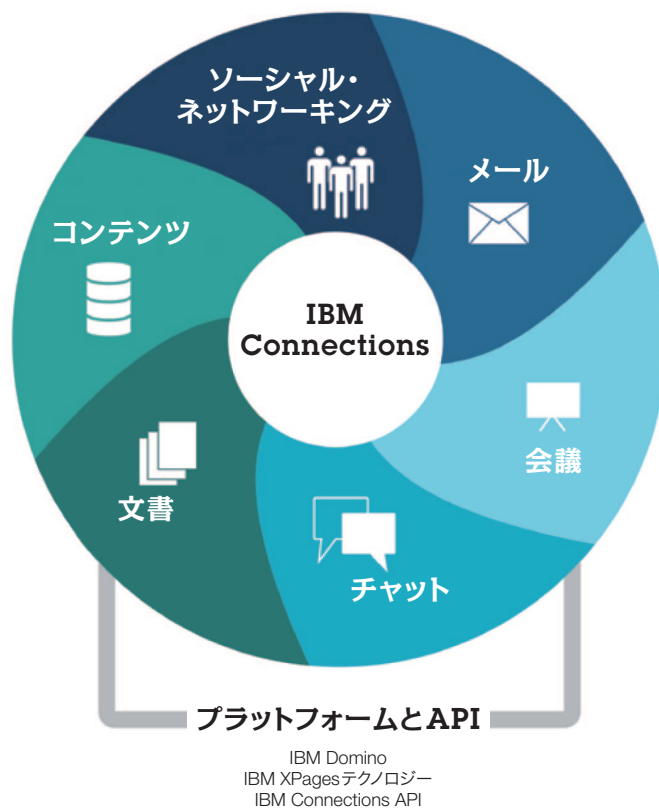


図1 : IBM Connectionsの機能はオープンAPIによって拡張できるため、他のビジネス・アプリケーションとの統合ができます。

IBM Connectionsによって、対象分野に関する専門家ネットワークの迅速な特定と構築を行うことで、ビジネスの専門家の創造力や生産性を向上できます。このプラットフォームにより、イノベーションを喚起し、ビジネスのさらなる成長を促進する創造的なアイデアの交換の場となる従業員、サプライヤー、顧客の活気に満ちたコミュニティの構築ができます。

また、専門家が1カ所に常駐することは少なくなっているため、モバイル・アクセスが欠かせません。IBM Connectionsでは、さまざまなモバイル・デバイスやオペレーティング・プラットフォームに対応したネイティブ・モバイル・アプリケーションを利用できるため、ユーザーは時間や場所にほとんど制限されることなく、専門家のネットワークやコミュニティの信頼できる専門知識にアクセスできます。

IBM Connectionsの機能

IBM Connectionsは以下の機能を提供します。これらの機能は、ビジネス要件に基づいて追加していくことができます。

- **ソーシャル・ネットワーキング**—コミュニティ、リッチ・プロフィール、ソーシャル分析、アクティビティ、ファイルの共有と同期、ブログ、フォーラム、Wikiの機能により専門家のネットワークへの常時接続を提供します。
- **メール**—電子メール、カレンダー、連絡先を統合することによって、既存の複雑な環境を簡素化します。
- **会議**—高品位オーディオ/ビデオと、文書、アプリケーション、デスクトップの共有機能を備えるオンライン会議により、出張不要のコラボレーション環境を提供します。
- **チャット**—ソーシャル・ビジネス環境の情報に関係する人々への即時接続ができるエンタープライズ・インスタント・メッセージング、オンライン在席確認機能、コミュニティ・コラボレーションによって、必要な専門知識を、必要なときに見つけられるようになります。
- **文書**—ワープロ、スプレッドシート、プレゼンテーション文書の作成/編集をチームがリアルタイムに協力して行うオンライン・オフィス生産性スイートにより、生産性を高めます。

- **コンテンツ**—コンテンツ作成プロセスに、人々が参加し協力して取り組むことができます。文書のチェックイン/チェックアウト、バージョン管理、承認のルーティング、メタデータ、分類、文書タイプ、フォルダーの階層により、コンテンツを管理できます。

IBM Connectionsの機能はすべて統合されています。そのため、次のようなビジネス全体のニーズを満たす、より生産性の高い作業環境の構築ができます。

- **イノベーション**—組織の調和とよりスムーズなビジネス・プロセスを目的に、直感的に操作できるテクノロジーの活用によって、常に競合他社の一歩先を行く。
- **アクセシビリティ/セキュリティ**—情報のセキュリティを確保するとともに、情報を必要とする特定の人物は情報へアクセスができます。
- **自信**—ビジネスのあらゆる面に光を当て、リスクを軽減し、自信を持って新しいアイデアを行動に移す。
- **ROI***—社内の労働力全体を可能な限り向上させ、その利益を日常的に還元できるテクノロジーに投資する。また、このテクノロジーの提供元として、導入の各段階を二人三脚で歩んでくれるテクノロジー・パートナーを選ぶ。

※ ROI : Return on Investment

TD Bank Group

TD Bank Group (TD) は、Toronto-Dominion Bankとその子会社で構成されています。TDは北米6位の規模を持つ銀行として全世界の金融中心地の多数の拠点で事業を展開し、4つの主要事業でおよそ2,200万の顧客にサービスを提供しています。TDはまた世界屈指のオンライン金融サービス企業の1つでもあり、オンライン顧客数はおよそ850万に上ります。本社の所在地はトロントで、従業員数は8万5,000人を超えています。

TD Bankは、IBM Connectionsソフトウェアを導入することによって、従業員主導のソーシャル・ビジネス・ネットワークを構築しました。それにより、TD Bankではプロフィール、コミュニティ、ディスカッション・フォーラム、タグ付け、ファイル共有などの先進的な機能によって、共有情報への迅速なアクセス、ネットワークを介して公開される知見や専門知識によるビジネス・プロセスの改善、専門家による吟味と過去の経験に裏付けされた、より自信を持った意思決定が促進され、作業をより迅速に行えるようになりました。

ビデオを視聴：http://youtube.com/watch?v=HBSRi5BW_Js



GartnerはIBMをワークスペースにおけるソーシャル・ソフトウェアのリーダー・クアドラントに位置付けています。²

クラウド・セキュリティによる重要なデータの保護

現在、セキュリティはほとんどの組織の最優先事項となっています。この状況を考慮して、IBMはビジネス・レベルの運用に対応するようにIBM Connectionsを設計しました。このソリューションは、50カ国以上の国々の企業の信頼を得ているSAS 70 Type II、SSAE 16、ISO 27001、Safe Harborなどの標準への準拠を促進する、認証、侵入防止、物理的なセキュリティ機能などの堅固な機能を備えています。これまでIBMは、こうした組織に充実したセキュリティ機能を備える環境を提供してきました。この豊富な経験により、セキュリティの最新のベスト・プラクティスを取り入れることができます。

展開の選択肢を提供する柔軟なクラウド導入パス

IBM Connectionsでは、さまざまな選択肢を提供することによりクラウド、ハイブリッド、またはオンプレミスでの運用をサポートしているため、企業は、適切なペースで、また適切な導入パスを辿ることによって、クラウドの機能を導入し、それぞれの組織特有のビジネス・ニーズを満たすことができます。

IBM Connectionsでは、クラウド、オンプレミス、またはそれぞれの企業に適したその中間の任意の方法でソーシャル・ビジネスを導入できるため、柔軟で安全な展開という利点が得られます。例えば、遠隔地に社員が存在する企業の場合、クラウドのみのモデルを導入し、本社に既に配備されているオンプレミスの環境に統合できるため、純粋なオンプレミスのモデルの場合よりも、IT部門の作業とインフラストラクチャーのコストが削減でき、さらに立ち上げ期間も短縮できます。

実装と導入をサポートする専門知識

IBMは、IBM Connectionsの戦略、設計、実装、導入をサポートする、技術面や業種別の深い専門知識も提供しています。IBM Global Business Services、IBM Global Technology Services、IBM Software Services for Collaborationの各部門は、ソーシャル・ビジネス、ビジネス変革、ソフトウェア・コンサルティング、トレーニング、実装における豊富な経験を持つ熟練したサービス専門家が企業を支援しています。また、IBMビジネス・パートナーがコンサルティング・サービスや、IBM Connectionsプラットフォームを拡張/強化する最先端の機能（ゲーミフィケーション、ビデオ、コンプライアンス、プロジェクト管理、モビリティなど）も提供しています。

**IDCのランキングによると、
IBMはエンタープライズ・ソーシャル・
ソフトウェアの世界市場で
5年連続トップの座を占めています。³**

IBMを選ぶ理由

IBMには、人を中心としたワークプレースの構築に携わってきた25年以上の経験があり、以下のことを支援します。

- **人の能力を強化する**：モバイル、Web、デスクトップを問わず、ほぼすべてのデバイスへのソーシャル・コラボレーション・ソリューションのインストールによる、シームレスな接続
- **人を巻き込み、関与させる**：導入の推進と関係の強化に役立つ強力なソーシャル分析機能と測定基準に基づく洞察による、作業のスマート化
- **人を信頼する**：充実したセキュリティ機能を備えるプラットフォームによる、顧客、パートナーとの組織の境界を越えたコラボレーションの拡大
- **テクノロジーを拡張する**：ビジネス・コラボレーション機能、分析機能、コンテンツ機能の広範な統合や既存のビジネス・プロセスへの組み込みによる、既存の投資の活用

IBM Connectionsは、IBMのグローバルで利用できるソーシャル機能とコラボレーション機能をビジネスのエコシステム全体で柔軟に導入できるようにすることで、営業成果をもたらします。各企業はそれぞれ選択したクラウド・プラットフォームを活用することができます。IBMでは、専有のデバイスやブラウザを対象とする方針にはよらずに、プラットフォームを極めて広範にサポートすることによって、コストの削減と導入の柔軟な提供モデルを用意しています。

詳細情報

IBM ConnectionsプラットフォームのオファリングとIBMのサービスの詳細については、IBMソフトウェアの営業担当員またはIBMビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次のWebサイトをご覧ください。

ibm.com/software/products/ja/conn

IBM Connectionsの体験版を60日間無料でご利用になれます*。

※条件の詳細は下記のリンク先でご確認ください。

ibm.com/cloud-computing/social/jp/ja/startatrial/

その他のリソース:

IBM ソフトウェア・サービス コラボレーション・ソフトウェア
(ibm.com/software/jp/services.html#cs_lotus)

IBMソーシャル・コラボレーション・ページ (ibm.com/innovation/jp/smarterplanet/socialbusiness/overview/)

IBMソーシャル・ビジネス・ページ
(ibm.com/social-business/jp/ja/)

また、IBMグローバル・ファイナンスングを利用することによって、ビジネスに必要なソフトウェア機能を取得することができます。IBMグローバル・ファイナンスングは、信用審査で承認されたお客様と連携して、ファイナンスング・ソリューションをお客様のビジネス目標と開発目標に合わせてカスタマイズすることにより、お客様の効果的な資金繰りと総所有コストの削減をご支援します。IBMグローバル・ファイナンスングを通じて、重要なIT投資資金を調達し、事業の発展を推進できます。詳細については、ibm.com/financing/jp/をご覧ください。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21

©Copyright IBM Corporation 2014

IBM Corporation
Software Group
Route 100
Somers, NY 10589

Produced in the United States of America
July 2014

IBM、IBMロゴ、ibm.com、Domino、Global Business Services、およびGlobal Technology Servicesは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点のIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。

このテキストにおいて、IBMとはInternational Business Machines Corporation、またはその支配下にある企業を含む企業体を意味します。

掲載されている製品・サービスは、IBMがビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。また国・地域によってはご提供条件が異なる場合がございます。詳細は各国IBMにお問い合わせください。

記載されているお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

IBMの将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があり、単に目標を示しているものです。

- 1 出典：Thompson, Vanessa. 2013. Worldwide Enterprise Social Software 2013-2017 Forecast. IDC.
- 2 出典：Drakos, Nikos and Jeffrey Mann, Mike Gotta. 2013. Magic Quadrant for Social Software in the Workplace. Gartner, Inc.
- 3 出典：IDC Worldwide Semiannual Software Tracker, 2H 2013